

サンプルファイルのSPANパラメーターを用いた計算例（2015年10月26日版）

SPANを用いた証拠金所要額は、SPAN証拠金にネット・オプション価値を考慮した額となります。

証拠金所要額 = Σ 商品グループ SPAN 証拠金額 - ネット・オプション価値の総額

商品グループ SPAN 証拠金額 = $\text{MAX} \{ (\text{スキャンリスク額} + \text{商品内スプレッド割増額} - \text{商品間スプレッド割引額}), \text{売オプション最低証拠金額} \}$

※ここで紹介する計算例はあくまでもサンプルファイルに基づき算出した場合のモデルケースです。実際の取引に当たり、算出される証拠金所要額とは異なる場合があります。

※各商品グループに係るSPANパラメーターの詳細は、【参考資料2】サンプルファイルのSPANパラメーター一覧をご参照ください。

※大阪取引所は、2016年央を目途に東証マザーズ指数先物、JPX日経インデックス400オプション、台湾加権指数先物及びFTSE中国50先物の上場を予定しております。

(参照 URL : 【東証マザーズ指数先物】 <http://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d8/20150624-01.html>

【JPX日経インデックス400オプション】 <http://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d8/20150624-02.html>

【台湾加権指数先物】 <http://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d8/20150908-1.html>

【FTSE中国50先物】 <http://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d8/20151028-01.html>)

例1：東証マザーズ指数先物取引を下表のとおり保有する場合

ポートフォリオ			<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットポジション：売 2 単位 - 買 5 単位 = 買 3 単位 ・ プライス・スキャンレンジ：¥60,000 ・ スキャンリスク額：¥180,000 ・ 商品内スプレッド割増額：¥12,000 ・ ネット・オプション価値：¥0 ・ 売オプション最低証拠金額：¥0 証拠金所要額 = ¥180,000 + ¥12,000 = ¥192,000
東証マザーズ指数先物取引	売	買	
2015年12月限	0	5	
2016年3月限	2	0	

例2：JPX日経インデックス400オプション取引を下表のとおり保有する場合①

ポートフォリオ		
JPX日経インデックス400オプション	売	買
2015年12月限14,000円プット	13	3

・ネットポジション：売13単位 - 買3単位 = 売10単位
 ・スキャンリスク額：¥4,760,000
 ・ネット・オプション価値：-¥5,350,000
 ・売オプション最低証拠金額：¥270,000
 証拠金所要額 = MAX(¥4,760,000, ¥270,000) - (-¥5,350,000)
= ¥10,110,000

例3：JPX日経インデックス400オプション取引を下表のとおり保有する場合②（売オプション最低証拠金額が証拠金所要額となるケース）

ポートフォリオ		
JPX日経インデックス400オプション	売	買
2015年12月限10,000円プット	13	3

・ネットポジション：売13単位 - 買3単位 = 売10単位
 ・スキャンリスク額：¥20,000
 ・ネット・オプション価値：-¥10,000
 ・売オプション最低証拠金額：¥270,000
 証拠金所要額 = MAX(¥20,000, ¥270,000) - (-¥10,000)
= ¥280,000

例4：JPX日経インデックス400先物取引とJPX日経インデックス400オプション取引を下表のとおり保有する場合

ポートフォリオ		
JPX日経インデックス400先物取引2015年12月限	売	買
JPX日経インデックス400オプション取引2015年12月限15,500円コール	1	0

・SPAN証拠金額：¥476,000
 ・ネット・オプション価値：-¥415,000
 ・売オプション最低証拠金額：¥27,000
 証拠金所要額 = MAX(¥476,000, ¥27,000) - (-¥415,000)
= ¥891,000

※JPX日経インデックス400オプションの取引換算額が1,000円、既上場のJPX日経インデックス400先物の取引単位が100円を乗じた額のため、JPX日経インデックス400オプション取引に係るデルタ・スケーリング係数に10を設定し、同係数を使って両商品の取引規模の差異を調整します。なお、JPX日経インデックス400

先物のデルタ・スケーリング係数は、現行どおり **1** を設定します（JPX 日経インデックス 400 先物の各レコードの収録方法は現行どおりです）。

例 5：台湾加権指数先物取引を下表のとおり保有する場合

ポートフォリオ			<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットポジション：売 2 単位 - 買 5 単位 = 買 3 単位 ・ プライス・スキャンレンジ：¥30,900 ・ スキャンリスク額：¥92,700 ・ 商品内スプレッド割増額：¥6,180 ・ ネット・オプション価値：¥0 ・ 売オプション最低証拠金額：¥0 証拠金所要額 = ¥92,700 + ¥6,180 = ¥98,880
台湾加権指数先物取引	売	買	
2015 年 12 月限	0	5	
2016 年 3 月限	2	0	

例 6：FTSE 中国 50 先物取引を下表のとおり保有する場合

ポートフォリオ			<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットポジション：売 2 単位 - 買 5 単位 = 買 3 単位 ・ プライス・スキャンレンジ：¥100,000 ・ スキャンリスク額：¥300,000 ・ 商品内スプレッド割増額：¥20,000 ・ ネット・オプション価値：¥0 ・ 売オプション最低証拠金額：¥0 証拠金所要額 = ¥300,000 + ¥20,000 = ¥320,000
FTSE 中国 50 先物取引	売	買	
2015 年 12 月限	0	5	
2016 年 3 月限	2	0	